

さいたま市長 6月定例記者会見

平成27年6月30日（火曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。  
それでは、記者クラブ幹事社の毎日新聞さん、進行をよろしくお願いたします。

○ 毎日新聞 6月の幹事社を務めます毎日新聞と申します。よろしくお願いたします。  
それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長からご説明をお願いいたします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。  
既に承知のことですが、浦和レッズが2015シーズンJリーグ・ファーストステージを開幕から全17戦無敗というJ1リーグ記録で優勝いたしました。これは、レッズの強さと勢いを物語っており、私も大変うれしく思っております。セカンドステージにおいても、実力を遺憾なく発揮され、2006年以来のJリーグチャンピオンになることを期待しております。

また、J2におきましても大宮アルディージャが現在首位を走っております。このまま首位を快走し、1年でのJ1復帰を果たしていただくことを信じております。

さらに、サッカー女子ワールドカップカナダ大会におきましても、さいたま市にお住まいの佐々木監督率いるなでしこジャパンがベスト4に進出し、その活躍も目をみはるものでございます。明後日、イングランドとの準決勝がございしますが、日本中に感動と興奮を与えた4年前の大会を再現させるため、なでしこジャパンの勝利を信じ、私も熱いエールを送りたいと思います。

それでは、本日の議題の説明に入らせていただきます。

## 市長発表：議題1「スポーツ・文化行政推進のため訪欧します」

まず初めに、「スポーツ・文化行政推進のため訪欧します」についてで

ざいます。

7月5日から7月11日まで、私は欧州のオランダ、フランスを訪問いたします。

まず初めに、訪問の目的について説明いたします。オランダにつきましては、ロッテルダム市のスポーツ担当副市长さんや、さいたまスポーツコミッションと提携しておりますロッテルダム・トップスポーツ役員と会談をして、スポーツ行政やスポーツコミッションの組織運営に関する意見交換を行う予定です。

またあわせまして、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける合宿誘致等について、ロッテルダム・トップスポーツと会談し、スポーツコミッションの誘致について協議し、欧州におけるさまざまなスポーツ関係のネットワークがございますので、こういったことを通じまして協力の要請をしてみたいと考えております。

また、世界最大規模のウォーキングイベントでありますナイメーヘン国際フォーデーマーチの会場視察を行い、あわせまして実行委員会会長と面会し、意見交換を行っていきたいと思っております。

フランスにつきましては、ツール・ド・フランスの会場を訪問いたしまして、2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムのPRのほか、世界盆裁大会やさいたまトリエンナーレなど本市の文化・スポーツ資源の海外におけるPRについて、現地の日本文化発信拠点でもありますパリの日本文化会館で意見交換をしてみたいと考えております。

次に、具体的に訪欧日程の概要を説明いたします。

7月5日に日本を出発いたしまして、同日中にオランダのロッテルダムに到着いたします。このロッテルダムを拠点にしながら、6日にはロッテルダム市内を周り、7日にはナイメーヘンを訪問する予定でございます。

ロッテルダムには、8日の朝まで滞在しまして、そこから列車でツール・ド・フランス第5ステージの会場でありますフランスのアミアンに移動します。そして、翌日木曜日の朝にツール・ド・フランス第6ステージのスタート地点でありますアブビルへ移動します。午後にはアブビルからパリへ移動し、10日の金曜日にパリを発つという予定でありまして、帰国は7月11日土曜日の朝の予定でございます。訪問者は、私のほかに随員職

員が1名、さいたまスポーツコミッションの職員、そしてスポーツ文化局の職員がそれぞれ同行いたします。

次に、訪問先での詳細な予定について説明いたします。

まず、6日の日でございます。6日は、ロッテルダム市役所を訪問いたしまして、ロッテルダム市のスポーツ担当の副市长と会談をする予定でございます。この会談には、ロッテルダム・トップスポーツの役員の方も同席されますので、市とスポーツコミッションとの連携など、スポーツ行政に係る意見交換をする予定でございます。

また、会談後、会場を移しまして、引き続きロッテルダム・トップスポーツとのディスカッションを行う予定でございます。さいたまスポーツコミッションの事務局担当者も同行いたしますので、ロッテルダム・トップスポーツの持つ知見をできるだけ共有できるようにディスカッションをしていきたいと考えております。

あわせて、2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致等につきましても、このトップスポーツがヨーロッパに持ついろいろな人的ネットワークを通じまして協力を要請していきたいと思っております。

7日はナイメーヘンを訪問しまして、ナイメーヘン国際フォーデーマーチのスタート・ゴール地点、コース、周辺施設を視察するとともに、フォーデーマーチ実行委員会会長と会談をいたしまして、世界最大規模のウォーキングイベントの開催ノウハウを吸収し、さいたまスポーツコミッションが主催しておりますさいたまマーチ〜見沼ツデーウォーク〜の今後の運営の参考にしてまいりたいと考えております。

続きまして、フランスの訪問についてでございます。フランスは、朝オランダをたちまして、8日の午後にツール・ド・フランス2015の第5ステージのフィニッシュの地点となりますアミアン市を訪問します。フィニッシュ地点には、ツール・ド・フランスの取材に集まるプレス用にプレスルームが設置されておりますので、ここにおきましてさいたまクリテリウムを報道いただけるように、チラシ、ステッカーなどのPRグッズを配布していく予定であります。

また、A. S. O. のアモリ社長との会談も予定しております。ツール・ド・フランス本大会でのさいたまクリテリウムのPRについてもお願いをして

いきたいと考えております。

翌9日でございますけれども、午前中にツール・ド・フランス第6ステージのスタート地点となりますアブビルに移動いたします。スタート地点にも多くのプレスが集まっておりますので、インタビューを受けたり選手を激励するなどしまして、さいたまクリテリウムのPRをする予定となっております。

ここで、アミアンとアブビルの位置でございますけれども、アミアンはこちらです。ちょうどこれがフランスでありますので、フランスの北側ということになります。アブビルも同じような位置でございますけれども、大体ベルギーに近い場所でありまして、パリからは1時間から1時間半程度の位置にあります。

引き続き訪問先の予定について説明しますと、9日ですが、アブビルでの活動を終えた後、午後にパリに移動します。パリでは、国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関であります国際交流基金が所管する施設、パリ日本文化会館を訪問いたします。こちらはフランスにおける日本文化の発信拠点でもございます。

本市を選ばれる都市としてブランディングしていくために、大宮盆栽を初め本市のさまざまな文化資源、また今後予定をされております世界盆栽大会、さいたまトリエンナーレ、さいたまクリテリウムなどの国際イベントを国内だけではなく、海外にも発信していくことが重要だと考えております。フランスにおける日本に対するイメージ、またそれを踏まえたPR活動について、パリ日本文化会館の館長と意見交換をするとともに、今後のPRについてご協力をお願いをしていきたいと考えております。

訪欧については以上でございます。

## 市長発表：議題2「外国人旅行者にSIMカードを提供します」

続きまして、議題2、「外国人旅行者にSIMカードを提供します」について説明をさせていただきます。

事業概要についてご説明させていただきます。2014年、訪日外国人旅行者数が1,341万人を超えまして、過去最高を記録いたしました。

さらに、本市への外国人旅行客の誘客を図り、地域の活性化につなげていくことがさいたま市にとっても重要な課題であると考えております。

本市は2017年に第8回世界盆栽大会 in さいたま、2020年には東京オリンピック・パラリンピックのサッカー、バスケットボールの会場になっておりまして、世界規模のこうした大会が控えております。外国人旅行客等の受け入れ環境の整備が不可欠になっている状況がございます。

平成23年度に観光庁が訪日外国人旅行客に対して行ったアンケート調査では、外国人旅行客の不満の第1位が「無料公衆無線LAN環境の不足」を挙げておられます。

国におきましても今無料公衆無線LAN環境の整備を進めておりますけれども、この無料公衆無線LANは非常に初期投資が高額でありますし、また整備後の維持管理費用が継続的にかかること、また街中での接続が困難なこと、またセキュリティーの面で不安が大きいことなどから、都心部を除き、整備が必ずしも進んでいないという状況であり、本市におきましても同じような状況でございます。

そこで、この無料公衆無線LAN、いわゆるwi-fi整備とは別の方法で、街中でも外国人旅行客のインターネット接続を可能にすれば、この不満が解消できるのではないかと考えまして、このSIMカードの配布をすることにしたわけでございます。

スマートフォンあるいはタブレットを利用いたしまして、街歩きが容易になり、市内での飲食、あるいは買い物などの際にも翻訳アプリやマップなどが利用できる環境を整備してまいります。

事業内容についてでございますけれども、これは国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用いたします。訪日外国人旅行客向けのSIMカード提供とともに、民間業者等による外国人旅行客の受け入れ環境整備を支援する「く〜るおもてなし事業」、本市の観光PRを行います「観光資源プロモーション活動」をすることをもって、外国人観光客おもてなし事業といたしまして、外国人旅行客の増加を図ってまいります。

訪日外国人旅行客向けのSIMカード提供の事業内容は、さいたま市に観光目的で来ていただいた外国人旅行客に対しましてSIMカードを無料配布するものであります。期間は7月10日から配布枚数が終了するまで

になります。

それでは、配布をするSIMカードについてですが、通信容量は3ギガバイト、スマートフォンやタブレット端末等を挿入してから30日間有効であります。

どんなものかといいますと、きょう持ってきておりますが、これです。これは、データ通信のみ可能ということで、いわゆる電話としては活用できません。電話回線を使用する音声通信機能はございません。したがって、今回お配りをするSIMカードは犯罪などに悪用される可能性は低いと考えております。

また、5カ国語の取扱説明書とアンケート用紙を配付いたします。配布枚数は2,000枚。その内訳としましては、マイクロSIMカードが500枚、ナノSIMカードが1,500枚でありまして、ちなみに今お見せしたこちらはマイクロSIMカードです。

対応機種は、iPhoneやアンドロイドといったスマートフォンやタブレット端末で使用できまして、通信設定した後にインターネット接続が可能となります。

これらについての広報の手段でございますけれども、外国人旅行者が自国で情報を得ることができるようにするため、さいたま市、大宮盆栽美術館、公益社団法人さいたま観光国際協会のホームページ、また埼玉県内へ外国人観光客誘致や海外に情報発信を行っております埼玉県外国人観光客誘致推進協議会の外国人向けフェイスブックに掲載いたします。訪日中の外国人旅行者向けには、羽田空港国際線ターミナルの観光情報センターに多言語で記載をいたしましたチラシを常備いたしております。

そのほか他市とも連携し、外国人観光客が多く集まる場所でPRをしていきたいと考えております。また、イベント、配布場所として協力いただく施設等での広報の協力を今後依頼していきたいと考えております。

このSIMカードの配布場所と配布方法についてでございますが、外国人旅行者が市内宿泊施設にチェックインする際にパスポートを確認させていただき、その際SIMカードを希望された方にこのSIMカードとアンケート用紙を配布することになります。

現在、浦和ロイヤルパインズホテル、浦和ワシントンホテル、パレスホ

テル大宮、ホテルニュー埼玉、ラフレさいたまで配布の協力をいただくことになっております。

また、市内の観光ツアーを企画する旅行会社、スポーツコミッションと連携して、大会の前後に市内観光に参加していただける方に配布をさせていただく予定となっております。

この事業の効果測定についてでありますけれども、SIMカードを配布した外国人旅行者へのアンケート調査を実施いたします。アンケートは3カ国語のものを用意いたしまして、内容は国名や滞在期間、滞在中の観光先、さいたま市の気に入った場所など旅行に関する内容と、SIMカードで通信ができたことでどのようなことをしたのか、またSIMカードを使用した満足度や事業の継続希望などをアンケートで聞いていく予定であります。

また、その他としまして、フェイスブックの「いいね」件数の増加数、市内観光ツアーの誘致件数、SIMカードを配布した宿泊施設の外国人旅行者の前年比の増減等によって総合的に判断して、事業効果について検証していきたいと考えております。

SIMカードの提供事業についての説明は以上ですけれども、あわせて冒頭にもお伝えしたとおり、もう一つの外国人観光客誘致おもてなし事業である「く～るおもてなし事業」についても少し説明させていただきます。6月15日付で資料提供させていただいておりますが、外国人旅行者の受け入れ環境整備のため、多言語対応、またインターネットへのアクセスポイントの整備等を行った店舗、また施設などに対しまして補助金を交付するものであります。これについては7月21日から募集をいたします。市内事業者の皆様にご利用をいただきたいと思っております。

私からの説明は以上でございます。

## 議題に関する質問

- 毎日新聞      それでは、市長からの説明について質問をお願いします。
- 読売新聞      読売新聞です。SIMカードの件でお尋ねします。  
なかなかおもしろい事業だなと思うのですが、ほかの自治体で、例えば無料配布ではないにしても、こんな形でどこかで販売したとか、もしくは

有料だけれども配布したですとか、そういった自治体によるSIMカードの配布の事例、把握しているものがあれば教えてください。

- 事務局 観光国際課です。私どもが調べた範囲では、今回、民間の事業者では配布したという事例は知っておりますが、地方自治体で取り組んだ事例は、調べた限りではなく、全国で初めての取り組みだと認識しております。
- 読売新聞 無料配布だということによろしいですか。無料で配布するのかということ。
- 事務局 配布自体していないと思いますので、全国で初めてだと思います。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。訪欧についてお伺いします。  
市長はスポーツコミッションの会長もされていますけれども、今回の訪欧は市長としての立場なのか、もしくは会長としての立場なのか、どちらと受けとめてよろしいのでしょうか。
- 市長 基本的には、スポーツ行政に係ることであると認識をしておりますので、基本的には市長という立場であると思っております。ただ、スポーツコミッションの職員も同席をいたしますので、特にオランダのトップスポーツとの会合については、そういったかなり細かい点についての議論といえますか、そういったことも行われると認識をしております。
- 埼玉新聞 今回市長のほか随行の職員の方が全日程で一人と、あとフランスの部分だけ一人、スポーツ文化局の職員さんが行かれるということですね。経費はどのぐらいかかる予定なんでしょうか。
- 事務局 スポーツ振興課です。おおむね一人45万程度かかるものと算出しております。
- 埼玉新聞 3人ですから、135万円ぐらいということによろしいですか。
- 事務局 全日程を皆さんが一緒ではないので、個人によってばらつきがあると。先ほど言ったのは、全日程一緒に行く職員の予定です。
- 埼玉新聞 3人を合わせてどのぐらいということによろしいのでしょうか。
- 市長 総額はまた後ほど。  
(会見後追加) 市費は概算で1,774,000円(市長、職員2名)。
- 埼玉新聞 それから、訪欧は一昨年以来だと思うのですがけれども、今回オランダに行かれて、先進事例を見学されて、意見交換するということですが、その先に例えばこういうことを実現したいとか、市長が考えていらっしゃるこ



と、構想等がありましたらお聞かせください。

○ 市 長

3年半前にスポーツコミッション設立した際に、さいたまスポーツコミッションとオランダのトップスポーツというスポーツコミッションとの提携をしてまいりました。そして、このロッテルダムという都市がいわゆるワーキングシティからスポーツシティに大きくまちづくりのテーマ、コンセプトを大きく変えて、大変活気を取り戻したといえますか、活性化をした、そういった点に注目して、先進的な取り組みをしているロッテルダム・トップスポーツのいろいろなノウハウを私どもとしても吸収をしていこうということで提携させていただいたのですけれども、それから約3年半たちましたので、今後さらにスポーツコミッションとしても成長戦略の一つとしてスポーツ観光産業都市戦略というのを挙げておりますので、さらにパワーアップしていくということが必要だと考えております。そういった意味でこの3年半経過した中での取り組み、あるいは行政としてのスポーツ行政に対する取り組みなどについて、私たちがこれまでやってきたことを踏まえながら、いろいろな意見交換、あるいはいろいろロッテルダムで取り組んでいることなどを伺いながら学んでいきたいと思っております。

また、もう一つの目的としては、2020年東京オリンピック・パラリンピックもあります。ロッテルダム・トップスポーツはヨーロッパのいろいろなスポーツ団体との関係、つながりを持っている団体と聞いておりますので、私どもも国を通じていろいろな取り組み、あるいは協力ということもやっているわけですけれども、市独自としてキャンプの誘致等についても積極的にやっていきたいと考えておりますので、あわせてそういったことについての依頼などもしていきたいと思っております。

○ 埼玉新聞

そうしますと、東京オリンピックのキャンプ地等の誘致ということで、ロッテルダムで、そちらで市長みずから誘致のトップセールス的なことをされるという受けとめ方でよろしいのでしょうか。

○ 市 長

そういったことも含めてになろうと思います。オランダ自身ということもあろうかと思っておりますけれども、トップスポーツ自体、例えばツール・ド・フランスを運営しているA. S. O. とのコネクションがあったり、ヨーロッパのいろいろな団体とネットワークがある団体でもありますので、オラン

ダに限らず、いろいろな形でアプローチができるのではないかと考えておりますので、そんな協力要請などもして、今後行って終わりというよりは、その後いろいろな形でフォローアップ、協力をしていただきながら、誘致に結びつけることができればとも考えております。

○ 東京新聞

東京新聞です。SIMカードについて教えてください。

国の交付金を活用するということですが、予算額は全体で幾らなのかということと、これアンケート等実施するということですがけれども、効果があると判断できれば、その後も市単独で継続をさせる考えがあるのかと。あとあわせて、これはあくまでも最初にあったwi-fiの環境のかわりであって、これが最終的にインターネットに接続できる外国人観光客にとっての最終的な形ではないというふうに考えて、あくまでもその過程での手段だというふうにお考えなのか、これがもうwi-fiのそういう環境のかわりになる可能性があるというふうにお考えなのか、その辺はどう市長としてお考えなのか、お聞かせください。

○ 市長

まず、最初の事業費全体についてでございますが、このSIMカードと、先ほど言いました別の多言語化などの事業も含めまして、総額で約2,000万円でございます。その内訳が、国の交付金が1,547万円、市費が453万円でございます。このうちSIMカードの単独の予算としては1,000万円ございまして、SIMカードの購入が800万円、それからSIMカードパッケージ等で200万円になっております。

それから、先ほども言いましたとおり事業の検証をしっかりと行った上で、今後どうしていくかを考えていきたいと思っております。1つは先ほども言いましたけど、現状ですとまだまだwi-fiの環境整備をしていくことは非常にコストが高いと。その後も維持管理の費用もかかってくるということもございますので、そういった費用対効果も含めながら、今後2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、あるいは国の施策としても、これから外国人観光客を2020年までに2,000万人、最終的には3,000万人という目標もありますので、その中でやはりさいたま市としても外国人観光客がたくさん来ていただけるようにしたいという思いもありますので、その中でコスト等あるいはそれぞれのセキュリティーの問題等々いろいろな問題もあるかと思っておりますので、そういったも

のも含めて総合的に判断をしていきたいと考えておりますので、まずは現時点で費用対効果を考えると、むしろこのSIMカードのほうが現実的かと考えておまして、ある意味では実験的な要素もあるのではないかと思っております。

○ **テレビ埼玉**      テレビ埼玉と申します。

SIMカードについてなのですけれども、資料にもありますように音声通信は不可となっていて、それが犯罪の悪用の危険性が低いというふうに市長がおっしゃっていたのですけれども、やはりデータ通信だけでも犯罪の可能性はあるのではないかと思うのですが、例えばアクセス制限ですとか、そういった特にほかの制限はないということではよろしいのでしょうか。

○ **事務局**            観光国際課でございます。

そういう想定は全然ないということではないのですが、特に制限は今はありません。

○ **市 長**            それなりのセキュリティー対策については講じてあると聞いておりますが、中身については余り詳細には、お話しはできないと。

○ **読売新聞**          SIMカードでもう一点追加で教えてください。

さいたま市を訪問した外国人観光客の人数の実績なんていうものはデータとしてございますでしょうか。

○ **事務局**            観光国際課でございます。

正確な数字というのはとっていないので類推になります。平成21年に市で調査し、短期間の間に5,000人を超える方のアンケートをとらせていただいたときに、外国人の訪問客数が当時0.1%という数字と、昨年さいたま市に来た2,700万人の数字から掛け算で出しまして、通常2万7,000人を超える数と考えております。ただ、最近の数としてはもう少し増えていると思いますが、正確な数ではないですが、2万7,000を超えるというのが我々の認識している数字です。

○ **埼玉新聞**          埼玉新聞と申します。

SIMカードについてなのですけれども、広報の方法のところ、インターネットを活用した広報というふうにあるのですけれども、このインターネットもやっぱり多言語で発信するということがよろしいのでしょうか。現在市のホームページは、日本語、英語、中国語、韓国語だけだったかと

思うのですが、それ以外の言語も今後対応すると、そういうことでよろしいのでしょうか。

- 事務局            今のとおりでよろしいかと思えます。
- 埼玉新聞        例えばフランス語とか、そういうのはないということですね。
- 事務局            フランス語については対応しておりません。今言われたとおりの対応になります。

追加のお話なんですけれど、今言われたように外国人の数の多いところからとっておりますので、どうしても率としてはフランス語という数字は低くなってしまいます。中国語、台湾、また韓国語、その辺が中心になってくると思えます。

- 埼玉新聞        揚げ足をとるようで恐縮なのですが、ツール・ド・フランスとかにいらっしゃるお客様は余り想定されていないということなのですか。クリテリウム、結構フランスの方もいらっしゃるかと思うのですが。
- 事務局            先ほどお話が市長からございましたけれども、国の交付金をいただいて、単年度事業という形の中で処理しておりますので、今回ツール・ド・フランスまでには事業が終了する見込みでこちらは対応を考えております。

### 幹事社質問：上田知事の知事選出馬表明について

- 毎日新聞        それでは、幹事社として代表質問させていただきます。質問は2点あります。まとめて行いますので、よろしくお願いいたします。

1点目、上田清司知事が4選に向けて出馬表明をしました。市長は、8月の知事選でどなたを支持するかお決めになりましたでしょうかということです。

2点目は、知事が多選自粛条例を破ることについて批判もありますが、市長の所感はいかがででしょうかということです。よろしくお願いいたします。

- 市長            幹事社質問にお答えしたいと思います。

まず、1問目の8月の知事選挙でどなたを支持するかお決めになりましたかについてでございますが、6月17日に上田清司埼玉県知事が4期目を目指して知事選挙に立候補する旨の記者会見を行ったことについては承知をしております。また、新人の方が立候補記者会見を行ったことはメディアを通じて知ったところであります。

現職である上田知事については、4期目の重要課題として、高齢化に対応する医療・介護施設の充実、また先端産業の振興などを挙げられておりますけれども、まだ施策全般については公表されていないという状況かと認識しております。

上田知事につきましては、前回の記者会見の際にも申し上げましたけれども、これまで3期12年の実績、成果ということについては大変大きなものがあると私自身は考えております。

また、さいたま市としても、大宮区役所の移転建て替えなどについても大変協力的に、また一緒になって推し進めていただいたという経緯もあり、この手腕あるいは実績については大きく評価をしているところでもあります。また、そういう意味では、前回も申し上げましたけれども、シンパシーも感じているところであります。

また一方で、新人候補につきましては、まだどういったことを政策として掲げてやられるということについては十分認識をしておりますので、まだ現時点ではどの候補を応援するというについては、決定をしておりますが、基本的にはやはりこれからの4年、どういった政策を掲げて県政を運営していくのかということを知った上で対応を考えていきたいと考えております。

続きまして、多選自粛条例を破るということについて批判もありますが、市長の所感はということでもあります。ちょうど上田知事が当選した当時、首長の多選について国レベルでも大変大きな議論が行われていたという時代であったと認識をいたしております。

かつてイギリスの歴史家、思想家、政治家でもありますジョン・アクトンは、権力は腐敗する、専制的権力は徹底的に腐敗するといったように、絶対的な権力の腐敗や権力の魔力について指摘した思想家や研究者は多いということではありますが、この多選の弊害として、首長の仕事への悪影響を指摘するご意見がございます。

また一方で、当選を重ねた首長について、よい政策を企画立案し、安定して実行していく政治力があるということで評価をされる部分もあります。就任期間だけで良し悪しを判断することは難しいというご意見もございます。

上田知事につきましては、みずからの政治信条でありました多選自粛条例について議会で議決をいただき、制定されたわけでありますけれども、これを結果的には破るような形になったということについては、県民に丁寧に説明する必要があると考えております。

説明という点では、今回の出馬会見におきましても、また議会での議員の皆さんからのご質問に対しても、この厳しい質問に対して一つ一つ丁寧に答えていらっしゃる姿勢については大変評価したいと思っております。これからは、さらに県民の皆様にご自分の言葉でしっかりと説明をしていただきたいと思っております。説明を尽くした上で、最終的には有権者が判断すべきものであると。実績や政策なども含めて、また知事が思っている4期出馬をするという、そういった思いであったり、あるいは埼玉県に置かれている状況であったり、そういったことも含めて総合的に判断をして、有権者の皆さんにさせていただく必要があるのではないか、このように考えているところであります。

### 幹事社質問に関する質問

- 毎日新聞      今の代表質問の説明に関して、質問がある方は質問をお願いします。
- 埼玉新聞      埼玉新聞です。  
先ほどの候補者を支持するかどうかはこれからということですが、おむねどの時点で支持する方を決める、もしくは誰も支持しないということもあるかと思うのですが、その判断の時期と判断基準はどういうふうにして決められるおつもりでしょうか。
- 市長          前回の記者会見でも少し申し上げたように思っておりますけれども、これまでやはりやってこられた実績、あるいは人格とか、そういった人間的なものも含めてということもありますし、それから重要なのは次の4年間にどんなことをするのかということですよ。それが明らかになった段階で判断をしていきたいと考えております。
- 埼玉新聞      そうしますと、時期はいつぐらいという形ではちょっと言えないということですか。
- 市長          そうですね。詳細なものではなくても、基本的な考え方も含めて、そういったものが明らかになってきませんと、なかなか判断ができないとも感

じますので。

○ 埼玉新聞      あと、先ほど市長のお話の中で、上田現知事が4期目に出馬することに対して説明を結構されているというようなこと言っていました。かなり十分な説明を県民に向けてしているというふうに見ていらっしゃいますでしょうか。

○ 市 長      十分かどうかは、まだこれからも、やはり県民の皆さんに、また出馬をされるということでもありますから、選挙戦も通じてしっかりと訴えをして、ご理解をしていただくように努めていただく必要があろうかと思えますけれども、一部知事が会見の中で、これから埼玉県が今はいいけれども、もうじき人口減少を含めて、大変急激な高齢化であったり、大きな変化を目の前にしている中で、これからの4年間が大変重要であるということについては、私もまさにそういう同じような危機感であったり思いを持っていますので、政治家としては非常に共感する部分はあると思っています。

でも、そういったことは政治家だけに伝えるわけではなくて、やはり県民の皆さんに対しても、上田知事にとっても、自らの政治信念あるいはそういったものを曲げて出馬するという事は、これは大変なことだったろうと思います。ですから、そういったことも含めて、やはりいろいろな形で県民の皆さんに話しかけていただきたい、説明をしていただきたいと思っています。

○ 埼玉新聞      関連してなのですが、自民党の埼玉県連が出馬を要請していた天野さんが辞退されるということで、この間新藤会長のほうが発表されました。このことについての受けとめと、あとやっぱり4選を出馬する知事の是非を問うには、やはり埼玉県議会で最大会派を持っている自民党がかなりちゃんとした候補者選んで、そこで論戦を戦わせるというのが非常に重要なことと思うんですが、今後自民の候補者選んでどんなふうな形で進んでいかれることを市長としては希望されていますでしょうか。

○ 市 長      一般論として言えば、自民党がとか、何党がということではありませんけれども、県民からすればやはり選択肢が幾つかあった方が、その中で選べるという環境があった方が、それはいいのではないかと思いますけれども、何党が出すべきだとか出さないべきだということは特に思っておりません。

- 埼玉新聞 天野さんの辞退についてはどのようにお考えでしょうか。
- 市長 それは私がコメントを申し上げるべきことではないと思いますけれども、基本的には天野さんご自身がいろいろ考えて総合的に判断をされたということだろうと思います。
- 朝日新聞 朝日新聞と申します。  
条例に関してなのですけれども、いろいろと知事の出馬で取り沙汰されているのですが、知事が出馬されたことによって条例自体は改正、廃案すべきかどうか、そういう議論もあるのですけれども、その点についてはどうお考えでしょうか。
- 市長 これも県議会のことですので、私からはコメントは差し控えたいと思いますけれども。
- 朝日新聞 質問を変えます。先ほど説明を尽くした上で、最終的には県民が判断することだと思っておっしゃっていたのですが、選挙で当選をすれば、その条例に関する批判というものもクリアできるだろうという、そういう理解でよろしいのでしょうか。
- 市長 基本的には、やはりそういったことの判断も含めて投票されるということになるのだろうと思いますので、そういったことも判断の一つになるだろうと思います。ただ、やはり説明をしていくということについては、今後もいろいろな形で必要性というのは出てくるのではないかと思います。

### その他：9条俳句不掲載について

- 毎日新聞 それでは、そのほかに質問がある方はお願いします。
- 埼玉新聞 先日、先週25日ですね、昨年からさいたま市教育委員会のほうで少し問題になって解決しないでいる俳句の掲載拒否問題で、句会の作者の方が市を相手取ってさいたま地裁に提訴されました。このことについて、まずどのように受けとめていらっしゃるかをお聞かせください。
- 市長 現在報道では、そういった提訴されているということについてはお伺いしておりますが、訴状自体まだ届いておりませんので、内容を確認した上で適切に対応していきたいと考えております。
- 埼玉新聞 1年間ずっとやりとりをさまざまにしてきた、それが十分だったかというのは判断分かれるところですが、してきたと思うのですが、そう



いった結果、提訴されたということについてはどのようにお考えでしょうか。

- 市長 　　いずれにしましても訴状が届いておりませんので、内容確認してからのお話ということになるかと思えます。
- 埼玉新聞 　　例えば残念に思うとか、こちらとしては十分対応してきたとか、いろいろ考え方あると思うのですが、その点についてはいかがですか。
- 市長 　　その辺についても、訴状が来ていなくて、一応私宛てということは報道では聞いておりますけれども、その辺も含めて十分認識をしておりますので、基本的にはこの課題については、これまで教育委員会に係る内容、案件ということで、教育委員会で対応してきたと認識しておりますけれども、それらのいろいろなプロセスの中でこうした結果になったのだらうと思えますけれども、いずれにしても訴状が届いていないので、何とも言えないというところであります。
- 埼玉新聞 　　例えば今までは当事者の方に説明を尽くすけれども、掲載しないという判断は変えない。その理由としては、世論を二分しているものについては、市の刊行物に載せるのはふさわしくないだろうという教育委員会の説明だったと思うのですが、それは今後変更する、もしくはその是非をもう一回市教育委員会のほうで検討するということについては、例えば市長のほうから何かアドバイス、教育委員会ですから直接はできないのですが、何か助言等をする予定とかはございますか。
- 市長 　　教育委員会が適切に判断し、対応していくべき問題であると認識しておりますので、それについて私からは特にありません。
- 埼玉新聞 　　ただ、訴状のほうは市のほうが被告になっているわけですから、教育委員会の独立性というものもありますけれども、何らかのアクションをすることもあってもいいのかなと思うのですが、そこはあくまで教育委員会の判断と対応に任せるということによろしいですか。
- 市長 　　基本的には、そういう考え方であると思えます。
- 東京新聞 　　東京新聞です。  
　　今の話で、同じように回答になるかもしれませんが、訴訟になるということで、こういう事態に至って、これまで市教委の対応だとかプロセスというのは、市長としては改めて問題なかったとお考えでいらっしゃる

るでしょうか、現時点で。

- 市長 基本的には、私はコメントする立場にはないと思っています。ですので、前のときそれも何度も申し上げたのですけれども、私がその後発言したことをかなり新聞には書かれたりしていますけれども、基本的にはそのときと一切変わっておりません。おおむね適切に行われたと判断しております。それは私見です。
- 毎日新聞 いかがでしょうか。

### その他：育児休暇取得に伴う保育所退所について

- 埼玉新聞 別の件についてお尋ねします。  
先日、所沢市のほうで育休を下の子が生まれてとる場合、上の子が保育園に入所していた場合、その子を退所させるということで、それは困るということでお母さんたちが差しとめの提訴をしましたが、さいたま市では同様の事例ではどういうふうに対応していらっしゃるかをまず教えていただきたいと思います。
- 市長 まず、今回の所沢市の育休退園制度については、4月から子ども・子育て支援法の施行に合わせて、母親が第2子以降を出産して、そして育休を取得した場合には、自宅で保育が可能になるとして、既に在園していた2歳児までのお子さんについては、下のお子さんが生まれてから2カ月後に原則退園させる運用を始めたと聞いておりますけれども、そういうケースの場合、本市におきましては育児休業の対象となるお子さんが、満1歳の誕生日を迎えた年度の3月31日まで、上のお子さんの保育施設の継続利用を認めております。また、育児休業の対象となるお子さんが4月の1日以降、保育施設に入所できなかった場合には入所が可能となるまでの間も上のお子さんの保育園の継続利用を認めております。
- 埼玉新聞 そうしますと、さいたま市では所沢市のような問題は起きないということではよろしいのでしょうか、制度上。
- 市長 現時点では、そうだろうと思います。
- 埼玉新聞 今回その運用をどうするかというのは、かなり市ごとに任されていると聞いておりますが、子育ての支援策に力を入れていらっしゃるさいたま市長として、今回の件についてどのように受けとめていらっしゃいますでし

ようか。

- 市長 さいたま市としては、今国の運用では保育の希望や地域における保育の実情を踏まえた上で、子供の発達上、環境の変化に留意する必要がある場合や、保護者の健康状態などを考慮した上で、市町村が児童福祉の観点から必要と認めるときには、保育の必要に係る事由に該当するものとして継続利用を可能としています。

また、本市では一度保育施設を退園となって、育児休業明けに元の保育園に復帰できず別の保育園に入園になる場合など、環境が変化することは子供の発達上好ましくないと考えておりました、それらについては継続利用を認めているということにしております。ただ、所沢についてはそれぞれ地域によって実情が違いますので、この保育の必要性の認定ということについては、地域における保育の実情などを考慮して判断されるべきものであると考えておりますので、所沢市においてはそういう中で判断されたものであると思っておりますけれども。

- 毎日新聞 よろしいでしょうか。

どうもありがとうございました。以上をもちまして、本日の記者からの質問を終了いたします。

- 進行 以上をもちまして、市長定例記者会見を終了させていただきます。

次回の開催は7月16日木曜日、1時半からを予定しておりますので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

午後2時28分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。